

公表日

2026年1月20日

事業所名

こばんはうすさくら 立川若葉町教室

保護者等数(児童数) 34名 回収数 27件(割合79.4%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20件	4件		3件		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17件	3件		7件		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21件	1件		5件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24件			3件		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	23件	1件	1件	2件	言葉が話せない子どもですが、本人が理解できるツール、イラストや数字、ジェスチャーを混せて分かりやすい表現を意識して伝えてくださっています。 また読み書きが出来ないからと、書記などに立候補する子供に対しても、出来る範囲で取り組めるように工夫していただき、やる気をそぐわない対応をしてくださっています。	今後も一人一人に分かりやすく、目的をもった支援を行っていくように取り組んでいく。 「はい」以外の回答については、お子様の特性等の理解をさらに深め、必要に応じて保護者様と連携をして取り組み、取り組んだ内容等を口頭、または連絡帳などで伝えていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24件			3件		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24件		1件	2件		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21件	3件		3件		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24件	1件		2件		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24件			3件	飽きないようにいろんな場所に連れてってくれます。 プログラムもクッキングや外遊び、買い物体験、図書館、勉強や運動など多種多样に考えて頂いてます。 一生懸命日々アイディアを絞ってくださっているのが感じ取れます。	平日、土曜日、長期休みなど、今後も活動時間に応じて、職員間でアイディアを出し合いながら取り組んでいけるようにする。 また、連絡帳や送迎時に、取り組んだことや外出先などの写真を入れて、何をしたのか分かりやすく伝えていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9件	4件	6件	8件	特に必要性を感じないです。	今年度は職員の人手不足や教育、育成を行っていることもあり、地域とのかかわりが少なくなっていました。 今後は、職員の定着がしてきたら、地域のイベントなどにも参加できるようにしていきたい。
事業所の運営	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24件	2件		1件		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22件	1件	1件	3件	今年度はモニタリングの実施はまだないです。	今年度は職員の人手不足や教育、育成などを行っており、個別支援計画の面談に時間を取りることが難しい時もあったため、準備をして順次行えるようにしていきたい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8件	5件	8件	6件	特に必要性を感じないです。	今まで事業所としての家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会等を行っていない。 今後、必要性に応じてしていく機会をもてるようにしていく。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25件	1件	1件		子どもが話せない分、毎回事細かに過ぎした内容を写真付けて教えて頂け、イメージ出来、分かりやすくて有難いです。	今後も、送迎時を含め、連絡帳で分かりやすく活動内容や、お子様の状態についても伝えていけるようにする。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22件	1件	2件	2件	うちは障害程度が比較的軽く子供もできることが増えてきたため学校の通常級の友人との関わりを優先すべきとして卒所を勧められた。	お子様の状態に合わせて適宜、卒所などを勧めたり、面談時に困っていることや事業所で行っている支援内容などを伝えている。今後も継続して行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26件			1件		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5件	4件	12件	6件	不要と感じるので今まで良いです。	コロナウイルス感染などの予防から、保護者会を行わなくなつた。 適宜、交流を図るなど、必要に応じて保護者様も参加できるイベントなどの機会を作りたいけど良い。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19件	2件		6件	メールやアプリでタイマリーに対応して頂いてます。	保護者様からの相談や連絡については、当日内に返答ができるようにしている。今後も迅速かつ適切に対応できるように努めていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25件			2件		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23件			4件		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26件			1件		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21件	3件		3件		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22件	1件		4件	今後、東京でも熊の出現が増加すると、自然豊かな場所へのお出かけが難しくなるなど感じています。	お子様たちと普段の教室時の避難訓練は定期的に行っているが、外出については、事前情報などを予め把握して、安全などころに行く等、対策を考えていく必要がある。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21件			6件		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23件	1件		3件		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25件	1件		1件	自分のペースで過ごせているので、安心して利用できています。	プログラム活動なども無理に促さずに、やりたくない時は理由を聞いたり、出来るところだけやっていただきなど、ぶり幅をもって対応をしている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24件			3件	毎回、長期休暇中の車での遠出のプログラムを楽しみにしています。	おやつの買い物や調理、公園遊び、長期休暇中の遠出など、お子様たちが自分たちでやりたいことや行きたい場所を選べるように会議を行ったり、お子様の意見を反映できるように取り組んでいる。
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	26件		1件		事業所のご支援には大変満足しています。更に共働きしている家庭が安心して働けるように、子どもを見守ってもらえる環境を整備して頂き、学童や保育園のように開所時間を長くしていただけることを切に願います。それは事業所が開所時間延長をしても経営が成り立つように国や自治体などが制度設計していただき、福祉サービスの充実を図っていただきたいです。 こばんの先生や活動が大好きで、毎回楽しく通っています。家族でフードコートへ行ったとき、ひとりで注文できるから大丈夫。と言って堂々とお店へ向かっていました。知らない間に色んなことが出来るようになっていて、こばんで色々な経験をさせてもらっているおかげです。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。	開所時間の延長については、国や自治体の制度に基づいて行うため、現況での改善は難しく感じる。 買い物体験やその他の活動を通して実際に体験してできるようになることが増えるようにならぬかと、外遊等で色々な体験を積み、プログラム活動の工夫、見直しをしながら支援に取り組んでいきたい。

公表日

年 月 日

事業所名

こばんはうすさくら 立川若葉町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4件	1件	遊びや活動内容によっては、パーテーションで分けている時もある。人数によって、外出と室内に分けるなど、適宜、空間の確保も考えて取り組んでいる。	ギリギリに見える時もあるので完全に「はい」というわけではない。 10名を超えての利用の場合は、走っている児童がいると危ないと感じる。ぶつからないように端による声かけなどをしていく必要がある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3件	2件	全体や個別など職員で分担してみている。	職員の配置が取れない時は、安全性の面から利用人数を調整していることもある。 職員の配置が少ない時の見守り方、プログラムの構成なども考えて、見ていくようになる。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5件		入口の段差に対しては簡易スロープを用意している。	お子様に分かりやすく過ごしやすい環境を提供できるように気をつけている。必要なものは片付けるように日々注意を取り組んでいる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	3件	2件	晴れている場合は、公園に行くなどお子様の状態や人数、利用時間に合わせて活動や空間を作つて過ごしやすくできるような環境作りを行っている。	問題があるとは思っていないが、雨の多い季節に同じフロアで様々な遊びをしていて大丈夫かなと思う。 走ったり、動く場合は、危ないと感じることもありますため、晴れていれば外出をするなど、適宜、環境をみて空間を作っていく必要がある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5件		個室に物を置かないようにして、お子様がクールダウンや一人になりたい時に使用ができるようにしている。	個室が一つしかないため、二人以上休みたい時は順番にするか、フロアの端にパーテーションで区切って使うなど、適宜対応をしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5件		振り返りを小まめに共有、報告している。	毎日、朝のミーティングと1日の活動後に振り返りを行っている。当日にいる職員が疑問を残さずに1日が終わるよう早く帰る職員には事前に困ったこと、分からないうことなどを聞いて、次回に対応できるようしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5件		職員間で集まり、保護者様の意見を確認して、改善案を出し合っている。	全項目の把握、理解をしている職員ばかりではないので、項目ごとの内容を確認していく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5件		職員間で集まり、一つずつ項目の確認。意見を出し合い、改善案に努めている。	全項目の把握、理解をしている職員ばかりではないので、項目ごとの内容を確認していく必要がある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1件	4件	特になし	現在はほとんど行えていないので、今後、行っていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5件		アルバイトスタッフも研修に参加できとてもよかったです。	事業所内での研修は開催しているため、外部の研修を受講する機会をもっと取り入れていけると良いと感じる。
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5件		いつでも支援の情報を見られるし、確認できる。	職員間でプログラム作成をし、公表も行っているので、継続していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5件		職員間で保護者様から聞いた情報や学校、家庭、事業所での個々の課題などを話し合い、ニーズや課題を考えて計画書を作成している。	定期的にアセスメントが取れていない時もあるので、最新の情報が更新されていない場合もある。今後は、適切なアセスメントを定期的に取つて計画書の作成をするようにしていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5件		児童個々人の利益を考慮しているため、状況共有の早さ、対応の丁寧さが工夫されていると思う。	お子様の情報共有を常に行い、全職員で対応できるように、ミーティング時に共有、検討をしている。また、職員間でメール機能などを使い、学校お迎え時や保護者様から当日の連絡事項などは直ぐに共有ができるようにしているため、今後も継続して行っていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5件		一つの課題に対して職員間で共有して計画書を作成している。	作成した計画を職員間で共有する時間がもてないことがあるため、今後、ケース会議などを行つた後に職員間で共有をしていくように心がけていく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5件		お子様の情報共有については記録として残し、日々の様子も記録して確認をしている。	職員の経験年数などによりアセスメントの視点の幅はあるが、他の職員と共有することでお子様の様子や状況の把握ができるようになる。
地域支援・連携	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4件	1件	保護者様から、困っていることや要望などを各職員が送迎時に聞いたり、事業所での課題などもその都度話している。それを踏まえてどんな支援が必要かを職員で話し合い計画書を作っている。	地域支援・地域連携については、定期的に行つてないため、今後、学校や地域との連携をしていくようにしたい。

供 應 の 方 法	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5件		毎月、毎日の活動プログラムを職員間で意見を出し合って行っている。	特になし
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5件		毎月テーマを決め、プログラム組を行っている。前月と同じにならないように職員間で話し合い、決めている。また、お子様との普段の話から、やりたいことなどを反映させていくるように組み立てを行っている。	個別課題などの日は、プログラム活動がないため、時間の使い方が難しい。課題以外の時間でその日のお子様の人数や状況、下校時間によって決めることを行い、幅が多くもてるようになっている。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5件		個別の課題と集団活動の取り組みを計画書に盛り込んで作っている。	特になし
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5件		必ず当日の出勤者が理解して活動に入れるようにお子様の様子や活動内容などを職員間で把握できるように確認をしている。	特になし
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5件		支援終了後に出来ない時は、翌日の午前中に行っている。翌日に休みの職員は、当日に口頭で気づいた点や分からなかつたことなどを共有してから帰宅している。	お子様の個別の共有の部分では、翌日に振り返りを行う時に、翌日休みの職員には細かいところまで話し合いが出来ないため、直接の支援場面での様子を職員間で話し合えないところ。当日や難しい場合は、次回の出勤日に確認をしていくようしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5件		朝のミーティング、1日の振り返りで職員間で共有、記録を取り、次の支援に繋げられるようになっている。	特になし
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4件	1件	定期的なモニタリングが行えていない時は、送迎時などで保護者様から直接、普段の課題などを聞いて、支援の見直しどとを職員間で共有している。	定期的なモニタリングを行えてないこともあるため、今後行っていく必要性がある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5件		お子様の年齢、状態を見ながらガイドラインに沿える形で支援を行っている。	お子様の要望に合わせた取り組みを重視しているため、ガイドラインに沿って行えるように気をつけていく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5件		活動の選択の幅がもてるよう常に、お子様の意思を大切にして取り組んでいる。様々な特性を持ったお子様がいるので、お子様の状態に合わせて選択ができるよう準備をしている。	特になし
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5件		基本的に障害児相談支援事業所は出席しているが、お子様の特性をよく理解している場合は、指導員が参加することもある。	特になし
適 切 な 支 援 の 提 供	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4件	1件	直接ではないが、学校や保護者様を通して医療の情報提供を行ったり、学校の教員から話を聞いたり、お迎え時などに出来る範囲行っている。	一部では連携しているが、全体としてはできていないため、今後地域とのつながりを取っていく必要性がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5件		お迎え時間などの場合は、保護者様を通して下校時刻の連絡を行い、利用日までに必ず確認をするようしている。年間行事や行事予定なども4月の段階で分かる場合は確認をしている。	学校によって情報共有が遅い場合などもあるため、下校時間が分からなかつたり、保護者様と上手く連携が取れない時もある。学校のホームページでの確認や連絡調整なども適宜、行っているようにしていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4件	1件	同じ法人の事業所から移行するお子様の生育歴の中から情報共有を行ったりしている。	小4以上の児童の受け入れを行っているため、就学前の情報共有は直接は行っていない。 同じ法人の事業所から移行するお子様の事前情報として確認していく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1件	4件	現在までは、卒業して障害福祉サービス事業所等へ移行する児童が少なかったため行えていなかったが、今後、情報提供などをていきたい。	現在までは行えていなかったので、今後行ってていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1件	4件	現在はほとんど行えていないが、今後機会を作っていくことを希望する。	地域との連携を取っていかなければならぬので、今後取っていく機会を設ける。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1件	4件	地域の行事やイベントなどの情報は、町のチラシやポスターなどで確認をしている。	年齢的に児童館に行く機会がもてなかつた。今後は地域の行事や地域の子どもたちとかかわる機会を作っていくことを希望する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1件	4件	市内の連絡会の集まりなどで自立支援協議会等の話を聞いている。	市内の仕組みなどが分からぬこともあります。どういう仕組み作りになっているか確認していく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5件		送迎時やメールでのやり取りで確認したり、課題について共有をしている。	特になし
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1件	4件	特になし	現在は行えていないが、要望があれば行つてほしい機会を作りたい。 職員自身がペアレントトレーニングの研修を受けるなど知識などを深めていく機会を作つてほしい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5件		契約時に保護者様に丁寧な説明と、分かりづらい点がないか確認を行っている。	報酬改定などで単価の変更や制度が変わった時の知識などをよく理解しておけるようにしていく。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4件	1件	お子様の状況、保護者様の意見等を確認した上で、作成するように心掛けている。	定期的に面談ができない場合もあるため、送迎時や気になる課題が見つかった時などに適宜、保護者様に確認をしていくようにしていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5件		お子様の課題などを主軸として、事業所で行う支援内容について説明をし、保護者様から同意を得て行っている。	特になし
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5件		各職員が送迎等で聞いてきた悩みなどを職員間で共有し、後に、メールや電話、送迎時にお伝えしている。	特になし
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2件	3件	特になし	コロナウイルス感染予防の観点から行えていなかったが、今後、交流する機会を設けてていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5件		当日中に職員間で共有し、迅速に対応できるようにしている。	特になし
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5件		お子様個人の連絡帳の活用や事業所のアプリを使い、全体的に活動内容や詳細などを定期的に伝えている。	特になし
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5件		お子様の名前が載っている書類の管理、連絡帳の入力間違えなどは特に気をつけている。	特になし
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5件		特性に応じて、ジェスチャーやイラスト（写真）、紙に文字を書いて伝えるなど一人一人に応じた対応を行っている。	特になし
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1件	4件	特になし	コロナウイルス感染予防の観点から、事業所内での行事に地域の人を呼ぶことがなくなり、その後、まだ行われていない。状況をみて、行事に呼んでみるなど適宜、行っていく機会を作っていくと良い。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2件	3件	職員間で研修などを行っている。	保護者様への通知は一部しているが、訓練などを実際に行えていないので、職員の研修として訓練も取り組めると良い。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3件	2件	特になし	日々のお子様との避難訓練は行っているが、職員研修では行っていないので、今後行えると良い。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5件		保護者様から状況を聞いたり、教えてくださっているため、職員間で共有している。	服薬などは、保護者様から話がない時もあるので、職員が意識して確認をしないと分からない時がある。 今後、定期診察などで何か変更になった時にはお知らせをいただくように全体通知や契約時に伝えていくといいかもしれない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5件		保護者様を通して、アレルギーの確認をして対応している。	特になし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4件	1件	事故、怪我のないように職員間で、朝のミーティングで危険な箇所がないか確認をして取り組んでいる。	計画に沿った研修や訓練などはあまり行われていないため、今後、安全管理などを意識して取り組んでいけると良い。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4件	1件	避難訓練などの活動内容などは保護者様へ伝えている。	避難場所などを知らない保護者様もいるため、再度、保護者様への周知を確認していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5件		当日にあったヒヤリハットを職員間で共有し、毎月月末にまとめて施設長へ報告をしている。	特になし
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5件		定期的に行えていない時もあるが、研修は職員が全員参加する形で取り組んでいる。	初めて福祉を経験する職員にとって、虐待の意味合いが分からることもあるため、基本的なところから研修に盛り込めるといい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5件		契約時と、特に注意が必要なお子様には計画書に記載している。	特になし